

No.	022	—	1001	事務事業名	奨学金支給事務		細事務事業名			公的関与	9		
PLAN	課名	学校教育課		係名	総務係		電話番号	089-964-4420		メールアドレス	gakkokyoiku@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	経常的事務事業		事業運営方法	直営・補助等		実施計画	非該当		事業期間	38年度～年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし		
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	2 学校教育の充実		主要施策					
	事業の対象	東温市立中学校の最高学年に在学し、学校教育法第1条に規定する高等学校等に進学が見込まれる方、または、高等学校等に在学している方					根拠法令	東温市奨学金運用規則					
	事業の目的	最終的	成績優秀でありながら、経済的理由により就学が困難な方に対し、高等学校等の正規の修学期間中、月額10,000円を付与します。				今年度	新規認定2人を含め、6人に付与しています。					
	活動内容	①	奨学金運用委員会により、応募のあった方の中から奨学生の選考を行います。				④						
		②	年間4期に分けて奨学金を支払います。				⑤						
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	最終目標		
				業務の性格上、指標設定になじまないと判断します。			目標						
					実績								
					目標								
					実績								
					目標								
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	教育			費			
	直接事業費		平成 21 年度決算	平成 22 年度決算	平成 23 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	720千円	720千円	840千円								
	計(A)	720千円	720千円	840千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.007人	53千円	0.007人	53千円	0.007人	52千円					
		臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円					
	全体事業費(A+B)		773千円	773千円	892千円								
一次評価者	総務係	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	中等教育を受ける機会の確保に寄与するものとして、必要性があると考えています。近隣自治体と比較した場合、本市の制度は、返済義務がない稀なものです。												
有効性	成績優秀で学習意欲がありながら、経済的に厳しい家庭の生徒が対象であることから、月額10,000円の付与は、有効性があると考えています。												
達成度	条例、規則の趣旨に則った奨学生の選考ができていますと考えます。												
効率性	奇特定の市民の寄附金が原資であり、基金が底をついた場合、一般会計への計上、または返済の義務化といった、制度維持のための検討が必要です。												
当面の課題	認定の継続と基金残高とのバランスが課題となります。												
改革計画	制度を維持することを前提に、返済の義務化、定員の明確化等に関して条例・規則改正の検討を行うことや、返済を義務化しない場合は、一般財源からの支出により運営するなどといった検討を行います。												
二次評価者	学校教育課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	制度継続のため、財源(基金)の確保が課題です。												

No.	022	—	1003	事務事業名	ハートなんでも相談員設置事業（小学校）			細事務事業名				公的関与	4	
PLAN	課名	学校教育課		係名	総務係			電話番号	089-964-4420		メールアドレス	gakkokyoiku@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	ソフト事業			事業運営方法	直営・補助等		実施計画	非該当		事業期間	19年度～年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし		
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち			政策項目	2 学校教育の充実			主要施策	(3) 心の問題への対応			
	事業の対象	児童、保護者、教員等						根拠法令	ハートなんでも相談員設置事業実施要綱					
	事業の目的	最終的	児童、保護者、教員等に対して相談活動を行うハートなんでも相談員を設置することにより、問題行動、不登校等の未然防止並びに早期の発見及び解決に資することを目的とします。					今年度	北吉井小学校2人、南吉井小学校1人、川上小学校1人の計4人を配置しています。					
	活動内容	①	1校あたり、1日4時間、年間200日を限度に配置計画を立て、相談業務にあたります。					④						
		②						⑤						
		③												
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由				単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	最終目標		
		スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーとの情報交換会		情報・意見交換をすることにより、相談業務の充実を図ろうとするものです。				回	目標	1	1	1	1	
							実績	0	0					
							目標							
							実績							
							目標							
							実績							
DO	予算費目	会計	一般会計				費目名	教育					費	
	直接事業費			平成 21 年度決算	平成 22 年度決算	平成 23 年度予算	備考							
		国・県支出金		420 千円	420 千円	420 千円								
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源		0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源		1,497 千円	1,666 千円	1,731 千円								
		計(A)		1,917 千円	2,086 千円	2,151 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.014 人	106 千円	0.014 人	106 千円	0.014 人	103 千円						
		臨時職員工数・経費	1.667 人	2,852 千円	1.667 人	2,837 千円	1.667 人	2,801 千円						
	全体事業費(A+B)		4,875 千円		5,029 千円		5,055 千円							
一次評価者	総務係		総合評価点	A	必要性	4	有効性	3	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）													
必要性	児童の問題行動、不登校の原因は、複雑多様化していますので、これらの未然防止を目的とする相談員の配置は必要です。													
有効性	本事業以外にも、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを配置していますが、それぞれに、問題に対するアプローチの仕方を持っており、本事業の有効性はあるものと考えます。													
達成度	限られた日数、予算の中で、配置校において効率よく活用されていると考えます。													
効率性	限られた日数、予算の中で、配置校において効率よく活用されていると考えます。													
当面の課題	市内小学校7校のうち、児童数500人以上の小学校3校を配置対象としていますが、残り4校に配置の必要が生じた場合の対応を考える必要があります。													
改 革 画	増員が困難と判断された場合、拠点校、兼務校を設定する等、現在の人員による対応を検討します。													
二次評価者	学校教育課長		総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーとの連携を構築することが必要です。													

No.	022	—	1005	事務事業名	ハートなんでも相談員設置事業（中学校）			細事務事業名				公的関与	4	
PLAN	課名	学校教育課		係名	総務係			電話番号	089-964-4420		メールアドレス	gakkokyoiku@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営			実施計画	非該当		事業期間	19年度～年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし		
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち			政策項目	2 学校教育の充実			主要施策	(3) 心の問題への対応			
	事業の対象	生徒、保護者、教員等						根拠法令	ハートなんでも相談員設置事業実施要綱					
	事業の目的	最終的	生徒、保護者、教員等に対して相談活動を行うハートなんでも相談員を設置することにより、問題行動、不登校等の未然防止並びに早期の発見及び解決に資することを目的とします。					今年度	重信中学校1人、川内中学校2人の計3人を配置しています。					
	活動内容	①	1校あたり、1日4時間、年間200日を限度に配置計画を立て、相談業務にあたります。					④						
		②	ハートなんでも相談員、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー3者の情報交換会を実施します。					⑤						
		③												
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	最終目標			
		スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーとの情報交換会		情報・意見交換をすることにより、相談業務の充実を図ろうとするものです。			回	目標 1	1	1	1			
						実績 0	0							
						目標								
						実績								
						目標								
						実績								
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	教育費			費				
	直接事業費			平成 21 年度決算	平成 22 年度決算	平成 23 年度予算	備考							
		国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源		0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源		1,330 千円	1,418 千円	1,434 千円								
	計(A)		1,330 千円	1,418 千円	1,434 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.014 人 106 千円	0.003 人 23 千円	0.003 人 22 千円								
		臨時職員工数・経費		0.833 人 1,425 千円	0.833 人 1,418 千円	0.833 人 1,399 千円								
	全体事業費(A+B)		2,861 千円		2,858 千円	2,856 千円								
一次評価者	総務係		総合評価点	A	必要性	4	有効性	3	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）													
必要性	生徒の問題行動、不登校の原因は、複雑多様化していますので、これらの未然防止を目的とする相談員の配置は必要です。													
有効性	本事業以外にも、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを配置していますが、それぞれに、問題に対するアプローチの仕方を持っており、本事業の有効性はあると考えます。													
達成度	限られた日数、予算の中で、効率よく活用されていると考えます。													
効率性	限られた日数、予算の中で、効率よく活用されていると考えます。													
当面の課題	中学校には、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーも配置していますが、情報の共有、連携の面が課題と考えます。													
改 革 画	平成20年度から開始したハートなんでも相談員、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー3者の情報交換会の実施を計画します。													
二次評価者	学校教育課長		総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	ハートなんでも相談員、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーの3者による連携を構築することが必要と思われます。													

No.	022	—	1007	事務事業名	スクールソーシャルワーカー活用事業(県委託事業)	細事務事業名		公的関与	4				
PLAN	課名	学校教育課	係名	総務係	電話番号	089-964-4420	メールアドレス	gakkokyoiku@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	非該当	事業期間	20年度～年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	2 学校教育の充実		主要施策	(3)心の問題への対応				
	事業の対象	いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待等、問題を抱えた児童生徒や保護者、関係する教職員、福祉機関職員等				根拠法令	スクールソーシャルワーカー活用事業実施要領						
	事業の目的	最終的	いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待等、問題を抱えた児童生徒や保護者等の相談に応じたり、関係福祉機関等とのネットワークを活用して、問題を抱える児童生徒の支援を行うことを目的とします。				今年度	重信中学校に1人配置しています。また、場合により他校の事案にもあたることとしています。					
	活動内容	①	1日4時間、年間105日を限度に勤務計画を立て、業務にあたります。				④						
		②	家庭訪問、電話相談、学校での情報交換などを行っています。				⑤						
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	最終目標		
		スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーとの情報交換会		情報・意見交換をすることにより、相談業務の充実を図ろうとするものです。			回	目標 1	1	1	1		
						実績 0	0						
						目標							
						実績							
						目標							
						実績							
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	教育			費			
	直接事業費		平成 21 年度決算	平成 22 年度決算	平成 23 年度予算	備考							
		国・県支出金	441 千円	441 千円	367 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	10 千円	10 千円	84 千円								
		計(A)	451 千円	451 千円	451 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.030 人	227 千円	0.017 人	128 千円	0.017 人	126 千円					
		臨時職員工数・経費	0.219 人	375 千円	0.232 人	395 千円	0.232 人	390 千円					
	全体事業費(A+B)		1,052 千円		974 千円		966 千円						
一次評価者	総務係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	3	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	生徒の問題行動、不登校の原因は、複雑多様化していますので、これらの未然防止を目的とする相談員の配置は、必要と考えます。												
有効性	本事業以外にも、スクールカウンセラー、ハートなんでも相談員を配置していますが、それぞれに、問題に対するアプローチの仕方を持っており、本事業の有効性はあると考えます。												
達成度	限られた日数、予算の中で、効率よく活用されていると考えます。												
効率性	限られた日数、予算の中で、効率よく活用されていると考えます。												
当面の課題	昼夜を問わない対応が必要なケースがあります。中学校には、スクールカウンセラー、ハートなんでも相談員も配置していますが、これら相談関係者と教職員間の情報共有、連携を強めることが必要と考えます。												
改 革 画	平成20年度から開始した、スクールソーシャルワーカー、ハートなんでも相談員、スクールカウンセラー3者の情報交換会を計画します。												
二次評価者	学校教育課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	国・県の補助金が減額され、スクールソーシャルワーカーを廃止する市町があるが、問題を抱えている児童生徒や家庭に対する訪問・相談活動は有効と思われます。23年7月からは1名増員(川内地区担当)し、問題の早期発見・解決に取り組みます。関係団体(社会福祉協議会や民生児童委員等)との連携を構築することが必要と思われます。												

No.	022	—	1009	事務事業名	外国語指導助手派遣事業	細事務事業名		公的関与	7				
PLAN	課名	学校教育課	係名	総務係	電話番号	089-964-4420	メールアドレス	gakkokyoiku@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	6年度～年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	2 学校教育の充実		主要施策	(2) 生きる力の育成を重視した教育活動の充実				
	事業の対象	主として中学校における外国語活動、小学校外国語活動				根拠法令	「語学指導等を行う外国青年招致事業」募集要項						
	事業の目的	最終的	外国語教育の充実、国際交流の発展を図ることを目的としています。			今年度	重信中学校には、(財)自治体国際化協会が行う「語学指導等を行う外国青年招致事業」により招致した外国語指導助手、川内中学校には、市が直接任用した外国語指導助手を配置しています。						
	活動内容	①	中学校(小学校)における外国語授業の補助を行います。			④							
		②	外国語教材作成の補助を行います。			⑤							
		③	英語担当教員に対する現職研修の補助に従事します。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	最終目標			
				業務の性格上、指標設定になじまないと判断します。		目標							
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育			費				
	直接事業費		平成 21 年度決算	平成 22 年度決算	平成 23 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	8,828千円	9,599千円	9,301千円								
	計(A)	8,828千円	9,599千円	9,301千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.047人 355千円	0.047人 354千円	0.047人 347千円								
		臨時職員工数・経費	0.475人 813千円	0.000人 0千円	0.000人 0千円								
	全体事業費(A+B)		9,996千円	9,953千円	9,648千円								
一次評価者	総務係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	平成23年度に新学習指導要領が完全実施され、外国語指導助手配置の必要性は、ますます高まると考えます。												
有効性	現在、(財)自治体国際化協会が行う「語学指導等を行う外国青年招致事業」により招致した外国語指導助手と、市が直接任用している外国語指導助手がいます。												
達成度	中学校での外国語指導助手の活用については定着しています。小学校においても定着しつつあるものの、研究の余地はあります。												
効率性	民間会社による外国語指導助手派遣の利用も選択肢の一つですが、人材、人事管理等、総合的に判断し、現行で効率よく実施できていると考えます。												
当面の課題	学校における活用方法の研究が課題です。												
改 革 画	人材活用の面において、特に小学校において、教員が主体性を持って外国語活動の授業を実施するための研究・実践を行います。												
二次評価者	学校教育課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	現在、(財)自治体国際化協会が行う「語学指導等を行う外国青年招致事業」により招致した外国語指導助手と、市が直接任用している外国語指導助手がいますが、どちらも小・中学校では好評です。楽しく学習ができるよう各学校の活用・工夫が必要と思われます。												